

もくじ



今月の表紙  
『(株)ミツケホーム』

事業所データ

◆代表者

代表取締役 みつけ まさや 将哉

◆所在地

加古川市東神吉町西井ノ口375番地の1  
パルスビル101号室

◆HP



◆表紙写真

- ①リニューアルした新店舗にて（中央が三附社長）。
- ②商談スペースでは、施工事例や素材にもこだわりが光ります。
- ③オープンイベントに来られたお客様に笑顔で接する三附社長。
- ④内窓設置による温度差も体験できます。
- ⑤⑥⑦ファイテンの正規代理店として最先端のナノメタックスコーティングも取り扱い開始！

2 特集

中小企業の実態調査から見るインボイス制度の現状

7 クローズアップ

「確定申告は自宅で完結！

スマホとマイナンバーカードでe-Tax！」

加古川税務署 署長 鈴木 志のぶ さん

9 エッセイ

「感性を仕事にするという選択」

nail garden SOLA.

川浪 裕子 さん

12 会議所からのお知らせ

令和7年分確定申告決算準備相談のご案内 他

13 会議所のうごき

新年の節目を祝う

－新春議員懇談会を開催－ 他

15 団体だより

青年部・女性会・異業種交流会

16 会議所カレンダー

「今月の“こんな日”」

ご覧ください加古川商工会議所のホームページ <https://kakogawa-cci.or.jp/>



今月は事務所をリニューアルオープンされた『(株)ミツケホーム』代表取締役の三附将哉さんにお話を伺いました。三附さんは2024年に創業。住宅の施工現場に関わる中で、業界への問題意識や「お客様にとって、もっと安心できる住まいづくりをしたい」という思いが少しずつ強くなってきたことが、設立のきっかけだと話します。大工としての経験を生かして、現場監督として管理の視点も身につけながら独立に踏み切りました。社名の『ミツケ』は自身の名前に由来しつつ、「見つめる」という意味も重ねています。また、お客様と一緒に住まいの答えを探していく会社でありたいという想いも込められています。大切にしている理念には「お客様が分からないまま進めない」「ごまかさない」「最後まで責任を持つ」とシンブルではありますが、これまでに現場で培われた価値観が反映されています。

今回の事務所移転・リニューアルには、事業の広がりとお客層層の変化が背景にありました。これまで訪問での打ち合わせが中心でしたが、こだわりを持ってリフォームを検討される方が増え、施工事例や素材を見ながら落ち着いて話せる場所の必要性が高まりました。新しい事務所は、単なる作業場ではなく、提案の幅を広げる「店舗」として整えられています。内装の一部や家具は三附さんが手がけ、商談スペースの一枚板テーブルは全国を探し回って見つけ、自ら加工するなど、こだわりの詰まった新店舗となっています。

得意とする工事については「見た目を整えるだけではない」「提案型の工事です」と答えてくれました。元大工として現場を深く理解したうえで設計や段取りを行うため、工程が安定し、仕上がりの再現性が高い点が強みです。最近では、寒さ対策の内窓設置など、暮らしの不満を根本から解決する相談も増えているそうです。

さらに、工務店では兵庫県で初となるファイテンの正規代理店として、「本物の健康×住宅」にも取り組み始めています。素材のイメージだけに頼らず、身体の状態に働きかける科学的なアプローチを住まいに応用し、健康住宅を追求する新しい価値づくりへの挑戦です。

他にも、地域密着で事業展開してきたことで、工事だけでなく電球交換や蜂の巣の駆除など、暮らしの小さな困りごとにも寄せられるようになりました。地元の方々から「近くに頼れる工務店があるで」と思ってもらえること。その小さな積み重ねを大切にされています。今後は不動産事業に進出も考えられており、売買だけでなく、空き家の再生とリフォームの知見を掛け合わせた新たな取り組みも進めていく予定です。